

浸水津波避難ハザードマップ

南海トラフ地震 理論上最大モデルの被害想定

指定避難所 List of designated evacuation shelter

災害の危険に身を離して避難してきた人々が一定期間滞在する施設(町が指定する施設)

指定避難所	階数	電話番号(0567)
1 蟹江中学校	3 階	95-2057
2 蟹江北中学校	4 階	96-1145
3 蟹江小学校	4 階	95-2037
4 舟入小学校	2 階	95-2202
5 新蟹江小学校	4 階	95-2203
6 須西小学校	3 階	95-2201
7 学戸小学校	3 階	96-2588
8 蟹保育所	2 階	95-2455
9 蟹江南保育所	2 階	95-3449
10 蟹江西保育所	2 階	95-6454
11 須成保育所	2 階	95-0067
12 新蟹江北保育所	2 階	96-1050
13 蟹江町体育馆	1 階	95-6330
14 蟹江中央公民館	2 階	96-1135
15 舟入ふれあいプラザ	2 階	95-1011
16 蟹江児童館	2 階	95-6030
17 新蟹江児童館	2 階	95-5441
18 ミドリの家	2 階	95-6511
19 蟹江町図書館	2 階	95-0605
20 蟹江町産業文化会館	4 階	96-0170
21 蟹江町希望の丘広場	4 階	94-3800
22 蟹江町多世代交流施設「東人」	3 階	95-0026

凡例

- 指定避難所 Designated evacuation shelter
- 乳幼児優先避難所 Baby and child priority evacuation area
- 指定緊急避難場所 Designated urgent evacuation area
- 緊急避難場所 (未定避難地) Urgent evacuation area (Unspecified evacuation area)
- 指定緊急避難場所 (大規模火災地) Designated urgent evacuation area (Large-scale fire area)
- 指定避難所 Designated evacuation shelter
- 指定緊急避難場所 Designated urgent evacuation area
- 緊急避難場所 Urgent evacuation area
- 救援部隊活動拠点 Relief corps headquarters
- 災害ボランティアセンター The disaster volunteer center
- 災害時医療救護所 Emergency medical care station
- 蟹江町防災倉庫 Kani Disaster prevention warehouse
- 避難に適した建物 Building suitable for evacuation
- アンダーパス Underpass

防災 BOX 地震自動開錠ボックス

小・中学校、希望の丘広場、観光交流センターには、夜間や休日など施錠されている場合でも屋上へ避難することができるよう、施設出入口扉の鍵が入った防災ボックスを設置しています。(防災ボックスは震度5弱以上の揺れを感じて自動で開錠します。)

避難行動

地震の揺れを感じた時は、シェイクアウトで揺れから身を守ってください。揺れが収またら周囲の状況を確認して、命を守るために以下の避難行動をとってください。

立退き避難

- 緊急避難場所に避難する
- 安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館等の自主的な避難先に避難する

屋内安全確保

- 自宅・施設等の浸水しない上階へ移動する
- 自宅・施設等の浸水しない上層階に留まる

緊急安全確保

- 自宅・施設等の少しでも浸水しない高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高い堅牢な建物等に緊急的に移動する

蟹江町は、ほぼ全域で液状化の危険度が極めて高い地域です。周囲が液状化、浸水等で避難場所への避難が困難な時は、自宅等の施設の高いところへ移動して、命を守ってください。また、津波の高さがどこまで来るかを想定最大浸水深を基に確認してください。

緊急避難場所 List of evacuation area

浸水により指定緊急避難場所までの避難が難しい場合には、民間のショッピング等に緊急的に避難する

緊急避難場所	階数
1 ヨシヅヤ JR 蟹江駅前店	2 階
2 ヨシヅヤ専門店館	3 階
3 ホームセンターコーナン蟹江店	2 階
4 第8近藤ビル	5 階
5 三河屋	5 階
6 加藤建設	4 階
7 ルミエール棟	7 階
8 フローラル富吉駅南	14 階
9 富吉グリーンハイツ	10 階
10 アーバンハイツ富吉	6 階

官公庁施設 List of government office facilities

電話番号(0567)

官公庁施設	電話番号
1 蟹江町役場	95-1111
2 蟹江町消防署(蟹江町消防団本部)	95-5121
3 蟹江警察署	95-0110
4 蟹江警察署 / 須成駐在所	95-0110
5 蟹江警察署 / 蟹江交番	95-0110

地震が発生したとき、家族が同じ場所にいるとは限りません。このマップを利用して自宅、勤務先、学校から最も近い避難場所を確認しておきましょう。

また、地震はいつ発生するかわかりません。夜間や大雨の日に地震が発生すれば、避難場所までの道がわからないかもしれません。家族で決めた避難場所へ行く途中に、危険な場所・注意しなければならない場所がないか確認し、このマップに書き込んでみましょう。

想定最大浸水深

地震発生後12時間後の状況

地震発生から12時間後の、町内の浸水深の想定結果を示した図です。

河川からはなれたところでも、広く浸水していることがわかります。

せき上高を含む新しい想定です。

最大浸水深

- 水深4m以上
- 水深3mから4mまで
- 水深2mから3mまで
- 水深1mから2mまで
- 水深30cmから1mまで
- 水深30cmまで



0 0.5 1 2km

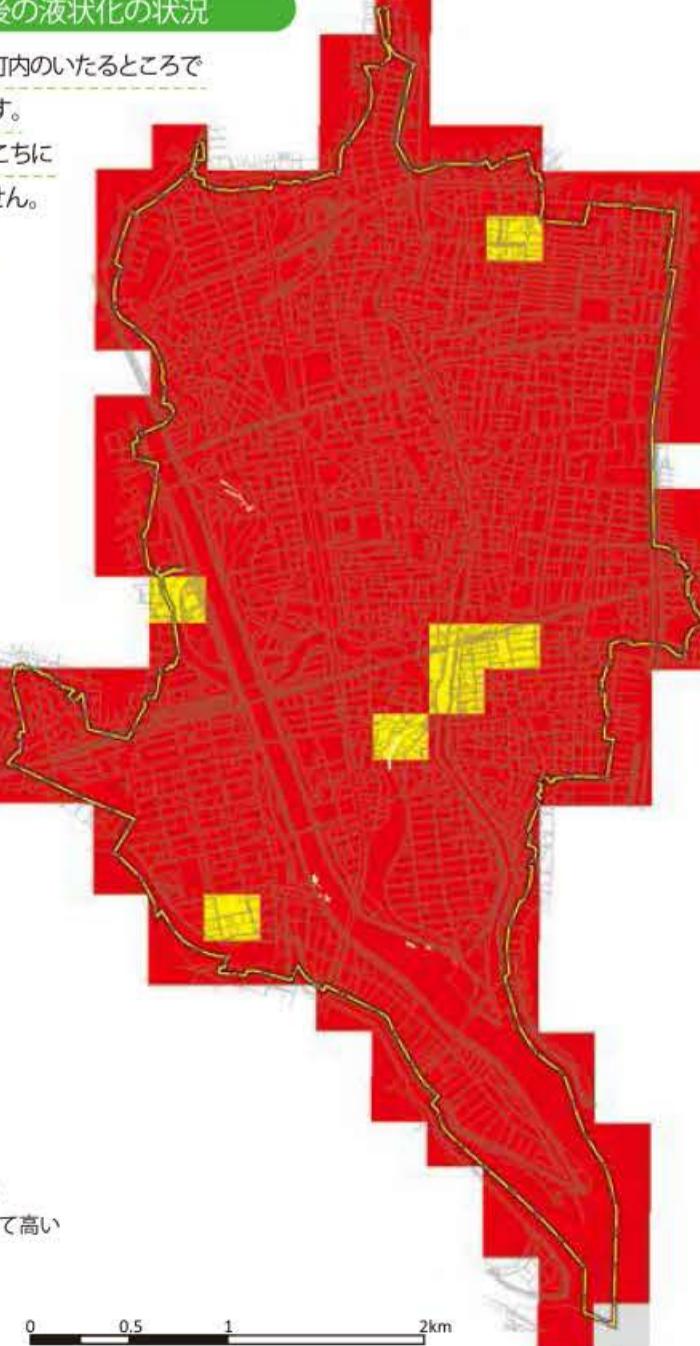
液状化危険度

地震発生後の液状化の状況

地震発生とともに町内に入ったところでの液状化が発生します。

窪地や段差があちこちにできるかもしれません。

避難時には注意が必要です。



液状化危険度

- なし
- 可能性が高い
- 可能性が極めて高い

0 0.5 1 2km

浸水深30cmに到達する時間の分布

地震発生後から、浸水深30cmに到達するまでの時間を示した図です。30cm以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、避難の準備ができる家を出るのに必要な所要時間の目安は15分ほどかかります。

※このマップは雨や台風による浸水被害を示すものではなく、堤防の破壊によって川の水が流れ込むことによる浸水被害を示すマップです。

●このマップは雨や台風による浸水被害を示すものではなく、堤防の破壊によって川の水が流れ込むことによる浸水被害を示すマップです。

津波災害警戒区域(イエローゾーン)

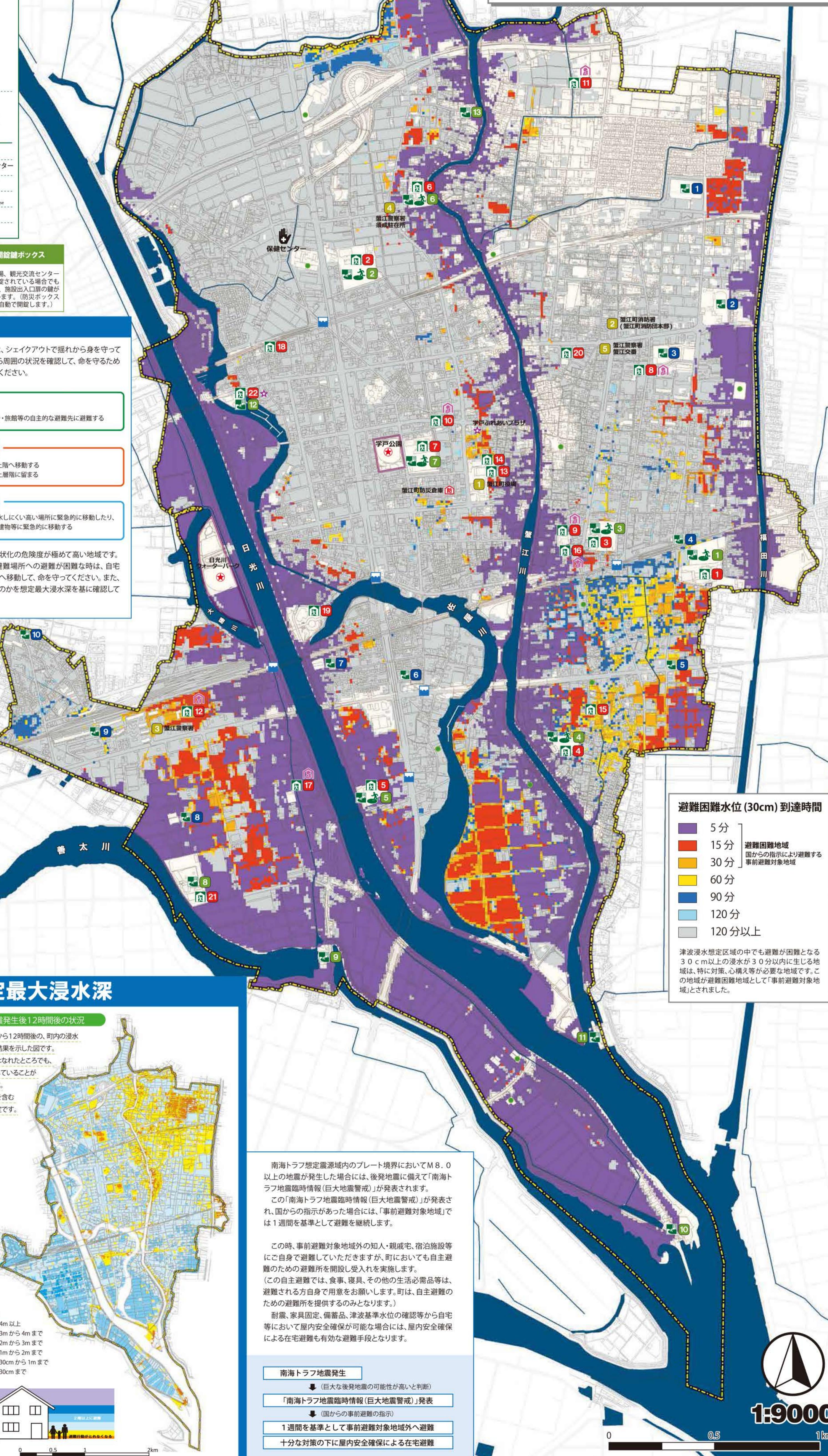
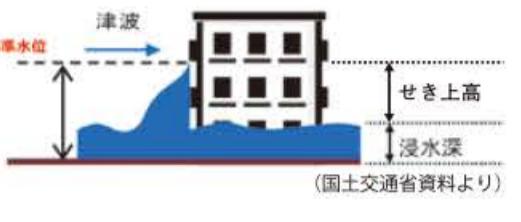
最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがある区域です。この区域は、住民等が平常時には通常の生活や社会経済活動を営みつつ、いざという時には津波から「逃げる」ことができるよう指定する区域で、建築物の建築や開発行為が制限されるものではありません。

蟹江町は全域が津波災害警戒区域に指定されています。

基準水位及びせき上

基準水位は、津波浸水想定で定める浸水深に、建築物等への衝突による津波の水位上昇を考慮して認められる値を加えて定める水位です。基準水位は津波に対して適切な避難高さであるため、避難施設等の効率的な整備の目安となります。なお、基準水位は、津波浸水想定における浸水深と同様に地盤面からの高さ(水深)で表示します。

また、建築物等に衝突する津波の水位上昇をせき上といいます。



The image is a promotional poster for the Kanie Town Flooded Tsunami Evacuation Hazard Map. It features a large blue background with white text and graphics. At the top left, there's a box containing Japanese text about the town's history. The top right has a circular logo with a cartoon face and the word '保存版' (Save Version). The main title '蟹江町 浸水津波避難ハザードマップ' is in large, bold, white font. Below it is the English title 'Kanie Town Flooded Tsunami Evacuation Hazard Map'. A sub-instruction 'いざという時に備え、日頃から避難場所や避難ルートなど確認しておきましょう。' is present. The poster is divided into several sections: '蟹江町防災情報メール' (Disaster Information Mail), '防災情報アプリ' (Disaster Information App), '同報無線' (Emergency Broadcast), 'お役立ち情報' (Useful Information), '災害用伝言サービス「171」&「web171」' (Disaster Message Service '171' & 'web171'), and download links for the app and Google Translate. QR codes are used throughout the poster.

1

蟹江町ってどんなところ？

What kind of place is kanie town ?

特徴・特性

Features and characteristics

蟹江町は、愛知県の西部に位置し、東は名古屋市、北は津島市、あま市、西は愛西市、南は弥富市に接しています。

町内には**蟹江川・佐屋川・日光川・善太川・福田川・大膳川**が南北に流れています。

人口は36,885人（令和6年9月1日現在）で行政総面積の11.09平方キロメートル全域が**海拔0メートル以下**の蟹江町は、大小の河川面積が総面積の5分の1を占める地域特性をもっています。

想定される被害

Expected damage

平成26年5月に愛知県が発表した調査結果（愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書）によると、南海トラフ地震が発生した場合、蟹江町では最大で**震度6強**の揺れが発生するとされています。

【建物被害】全壊・焼失棟数				【人的被害】死者数		
	揺れ	液状化	浸水津波	火災	建物倒壊	浸水津波
理論※1	約 1,600 棟	約 200 棟	約 1,200 棟	約 600 棟	約 90 人	約 600 人
過去※2	約 300 棟	約 200 棟	約 50 棟	—	約 10 人	約 200 人

※1 理論上最大モデル

「命を守る」という観点で、あらゆる可能性を考慮した、千年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度の低い地震・津波を想定したモデル。

※2 過去最大モデル

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいものを重ね合わせたモデル。

蟹江町に津波が川をさかのぼって到達するのは、地震が発生してから**約90分後以降**です。地震の揺れによる被害とともに、みなさんが注意しなければならないのは、川の堤防が決壊することによって起きる**浸水被害**です。

浸水被害はどのようにしておきるのでしょうか？
右のページで確認してみましょう。

2 どうして浸水被害がおきるの?

Why do flooding occur?

浸水被害発生のメカニズム

Mechanism of flood damage occurrence

地震が発生すると、道路にヒビが入ったり、建物が壊れたりします。しかし、地震により被害を受けるのは道路や建物などの目に見えるものだけではありません。

地震により地面に強い振動が加わると、地盤の沈下とともに、**液状化現象**が発生します。これは堤防の内部も例外ではなく、堤防内部が液状化すると、強度が低下し盛土の荷重を支えきれなくなり**堤防が破堤**してしまいます。これにより町内に川の水が流れこんでしまうのです。

避難行動の判断フロー図

Figure of evacuation action judgment flow

地震が発生したときの状況に応じて、避難の仕方が異なります。
下記のフロー図を参考に、避難の仕方を考えてみましょう。

はい → 家族・近所に急いで避難することができない要配慮者がいる。
いいえ → 緊急避難場所へ避難する
安全な親戚・知人宅、ホテル・旅館等の自動的な避難先へ避難する

はい → 洪水しない2階以上の堅牢な建物の中にいる。
いいえ → 自宅・施設等の洪水しない上階へ移動する
自宅・施設等の洪水しない上層階に留まる
自宅・施設等の少しでも洪水しにくい高い場所に緊急的に移動したり、近隣の相対的に高く堅牢な建物等に緊急的に移動する

はい → 緊急安全確保

いいえ → 緊急安全確保

避難する場所については裏面の地図を確認してみましょう。

3 浸水津波に備えよう!

Get ready for a flooded tsunami!

平常時

家の中の安全対策

家具の固定、避難路をふさがないレイアウト、ガラスの飛散防止を施し家中で被災しないよう対策を講じましょう。

備蓄品の準備

災害が発生しても、すぐに支援物資が届くとは限りません。家族が7日間は過ごせるだけの物資を備蓄しておきましょう。

避難場所等の確認

自宅から、職場から、学校からの最寄の避難場所・避難所・避難路も含めて平常時から家族で確認しておきましょう。

地域のコミュニケーション

お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

地震発生

自分の身を守る

地震の揺れを感じたら、まずは落ち着いて自分の命を守ることを考えましょう。

揺れが収まってから行動する

揺れている最中に火を消そうとすると、火傷をしてしまうかもしれません。

- 火の始末
- 出口の確保

倒れやすい家具、窓ガラスから離れて、机など丈夫なもの下に隠れましょう。

避難の時

避難は徒歩が原則

家屋の倒壊や落下物などにより、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。

また、多くの人が自動車で避難してしまうと、渋滞や交通事故のおそれがあります。

地域での協力が大切

お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

河川に近づかない

地震の後には、堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。

堤防破堤で浸水

少しでも早く、高いところに逃げる

既に避難路が浸水している場合は、遠くに逃げるのではなく、高いところに逃げましょう。最寄りの丈夫な建物のできる限り高いところに避難しましょう。

河川から離れる方向に逃げる

地震発生直後、堤防が破堤し町には水が流れ込みます。また蟹江町にやってくる津波は川をさかのぼってやってきます。避難のときは、川と垂直の方向に逃げましょう。

津波による河川の水位上昇

「安全な場所についたら、水が引くまで待機する。」

一度浸水すると、水が引くまでは時間がかかります。

安全な場所に避難できたら、家に戻らず、その場で救助を待ちましょう。

7

我が家の防災メモ

Disaster prevention memo of my home

地震の揺れを感じたら

少しでも早く、できるだけ高いところ
に避難しましょう！

南海トラフ地震発生時に使用する避難場所などを確認しよう！

家族の行動計画表

なまえ	ふだんよくいるところ	緊急避難場所	集合場所	連絡先
蟹江 太郎	会社	△△ビル	〇〇小学校	090-0000-0000
記入例				

マップの利用方法について

How to use the map

STEP 1

自宅や学校、職場の位置と、浸水状況・浸水開始時間などを確認しましょう。
また、町全体で想定される被害状況も確認しましょう。

STEP 2

自宅や学校、職場など普段よくいる場所から最も近い避難場所を確認しましょう。

STEP 3

もし、夜間に地震が発生しても迷わずに避難場所までいけるように、浸水開始時間をふまえて、避難場所までの避難路を決めておきましょう。

STEP 4

実際に避難路を歩いて、危険箇所など気づいたことをマップに書き込んでみましょう。

6

普段の備えをしっかりと！

Secure your daily routine!

備蓄品の準備

Stockpile preparation

一度浸水すると、水が引くまで孤立してしまう可能性がある。救助が来るまでの間、家族が食べていけるだけの食料品や水の備蓄など、避難生活の準備をしておくことが重要です。

備蓄品リスト

防災用品

- 給水用
ポリ容器・バケツ
- ロープ
- バール
- のこぎり・工具など

燃料

- カセットコンロ
(予備ボンベ含む)
- 固形燃料

寝具等

- 毛布
- 寝袋
- キャンプ用テント

命をつなぐために用意しておきたいもの

- 保存がきく食品
(自分が食べやすいもの)
- 常備薬 (持病の薬を含む)
- 飲料水 (ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。
また、水分の多い食品(ゼリーなど)
と組み合わせることで量を減らす
ことができます。

7日分用意しましょう。

内3日分は
非常持出品へ

便利用品

- ドライシャンプー
- 簡易トイレ

非常持出品リスト

防災用品

- 携帯ラジオ
- ヘルメット・
防災ズキン
- 軍手
- マスク

貴重品

- 現金 (小銭も必要)
- 預(貯)金通帳の写し
- 健康保険証・
免許証の写し
- カード類
- 認印・印鑑など

照明等

- 懐中電灯 (電池含む)
- マッチ・ライター

医療用品

- 三角きん
- 包帯・ガーゼ
- ばんそうこう
- 消毒液
- ウェットティッシュ
(ティッシュ)
- お薬手帳の写し
- マスク
- 体温計

食器類

- はし・スプーン
- 紙皿・紙コップ

衣料品

- 衣類
(着替え)
- タオル
(大小2種類)

その他

- 個人的に必要なもの
- 粉ミルク
- 紙おむつ
- 生理用品
- 歯ブラシ
- 予備のメガネ
- 補聴器など

消費しながら備蓄する！ ローリングストックのすすめ

The diagram illustrates the 'Rolling Stock' method for stockpiling. It shows a cycle where items are bought in excess, used, and then replenished as they run out. The cycle is represented by a green arrow that loops back to the start. The stages are:

- 最初だけ普段より多めに買う** (Buy more than usual at first)
- 使う** (Use)
- 半分になったら補充** (Replenish when it's half full)
- 使う** (Use)
- 古いものから使う** (Use old ones first)
- 補充** (Replenish)

非常用の備蓄品には「気が付いたら消費期限が大幅に過ぎていた」という失敗が起こりがちです。いざ！という時に消費期限が切れていてはせっかくの備えが台無しです。

ローリングストックは、普段使うものを多目に備蓄しておき、**使用したら買い足す**、というサイクルを繰り返すことで、常に新しいものを無駄なく備えておくことができます。

津波避難の心得！！

津波から身を守るには、とにかく避難が第一です。いざという時に、しっかりと避難行動がとれるよう、以下のことに注意しましょう。

「早く・近くの・高いところへ」

津波避難のタイミング

- ・地震の揺れを感じたら、「津波警報・注意報」を待たずに
- ・地震の揺れを感じなくても、「津波警報・注意報」が発表されたら

すぐ
避難！

避難する(した)際の留意事項

周囲の方にも声をかけ、一緒に避難！ 安全が確認されるまでは避難場所から戻らない！

5

いろいろな方法で情報を収集しましょう!

Collect information in a variety of ways!

町民への情報伝達経路

Information transmission route to townspeople

災害時には、以下のように情報が伝達されます。被害を最小限にとどめるには、正確でかつ新しい情報の入手が重要となります。

```

graph LR
    A["名古屋地方気象台  
・緊急地震速報  
・震度情報・津波予報  
・津波注意報・警報"] --> B["蟹江町  
・緊急安全確保  
・避難指示  
・高齢者等避難"]
    A --> C["各報道機関"]
    B --> D["同報無線  
・インターネットホームページ  
・広報車、電話、防災情報メールなどのあらゆる手段"]
    B --> E["・テレビ  
・ラジオ(FMななみ)などの各メディア"]
    C --> D
    C --> E
    D --> F["町民のみなさま"]
    E --> F
  
```

避難に関する情報

Information about evacuation

災害の危険が迫り避難が必要になった場合には、避難に関する情報が発令されます。しかしこれらの情報はすべての世帯に適切なタイミングで発令することは困難です。

蟹江町では南海トラフ地震が発生すると同時に、堤防が破堤し浸水が始まることが予想されます。地震の揺れを感じたら、避難に関する情報が発令されていなくても、自ら判断し避難を開始することが大切です。地震・津波災害時には警戒レベルは適用しません。揺れを感じたらすぐ避難してください。

警戒レベル5

緊急安全確保 災害発生又は切迫

直ちに命を守る最善の行動をとってください。

警戒レベル4

避難指示 災害の恐れ高い

危険な場所から全員避難してください。避難行動が危険と判断される場合には、屋内安全確保を含めて直ちに命を守る最善の行動をとってください。

南海トラフ地震により伊勢湾を含む太平洋沿岸に津波警報等が発表された場合、蟹江町全域に「避難指示(緊急)」を発令します。

警戒レベル3

高齢者等避難 災害の恐れあり

避難行動要支援者等避難に時間をする方が避難を開始しなければならない段階
避難行動に支援が必要な方、避難に時間を要する方及び支援をされる方は、危険な場所から避難してください。通常の避難行動ができる方は、避難準備を整えてください。もしくは自主的に避難してください。

4

早めの避難を心がけましょう!

Let's keep early evacuation!

河川から流れ込んだ水は最も深いところで3mを超える水位となります。広い範囲にわたり浸水が想定されますので、浸水による被害を軽減するには、町民のみなさん一人ひとりが率先して避難を開始することが大切です。

地震による**大きな揺れ**・弱くても**ゆっくりとした長い揺れ**を感じたときは、テレビや町からの情報を待たずに直ちにできるだけ高いところを目指して避難を開始してください。

30cm 以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、水深が浅くとも水の流れが速く避難場所へ行くのがかえって危険な場合は、最寄りの丈夫な建物のできるだけ高いところに避難しましょう。

道路が浸水している時の注意点

● 運動靴で避難する

避難の際は長靴ではなく、履きなれた運動靴を履いて避難しましょう。

長靴を履いて避難すると、長靴の中に水が入り込み、避難行動の妨げになります。

● 足元を確認しながら行動する

避難路が浸水していると、道路上の危険個所が正しく判断できない可能性があります。

浸水した道路を歩くときは長い棒を杖代わりにして危険を確かめながら歩きましょう。

災害時避難行動要支援者登録制度

Disaster evacuation action supporter registration system

蟹江町では、災害が発生したときや災害のおそれがあるとき、自力で避難することが難しい高齢者や障がいをお持ちの方などに対して、災害(避難)情報の伝達や避難場所への誘導などの支援が必要な方を「**災害時避難行動要支援者**」として登録する制度を進めています。

対象となるのは、災害時に家族などの支援だけでは避難することができない、または家族などの支援が受けられない在宅の方で、右の①から⑦のいずれかに該当される方です。

- ① 65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- ② 介護保険における要介護度3以上の認定を受けている方
- ③ 身体に障がいのある方
(身体障がい者手帳1・2級をお持ちの方)
- ④ 知的障がいのある方 (療育手帳Aをお持ちの方)
- ⑤ 精神に障がいのある方 (精神障がい者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方)
- ⑥ 難病をお持ちの方
- ⑦ その他支援が必要とされる方

※登録には申請が必要です。

詳しくは、蟹江町ホームページをご確認ください。

<https://www.town.kanie.aichi.jp/soshiki/7/saigai.html>

災害時避難行動要支援者を災害から守るために、地域の皆さんで協力し助け合いましょう。